

岐阜県立大垣養老高等学校

学校長 高木 徳彦

学校住所 養老郡養老町祖父江向野1418-4 電話 0584-32-3161

- 1 会議の名称 令和元年度 大垣養老高等学校 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 委員 | 大倉 美佐子 | 女性農業経営アドバイザー |
| | 川添 公男 | 特別養護老人ホーム白鶴荘施設長 |
| | 久保寺 美佳 | 本校PTA役員 |
| | 馬淵 康夫 | 日本板硝子(株)垂井事業所長 |
| | 水野 成人 | 保護司、元泉地区長 |
| | | (委員名は五十音順) |
| オブザーバー | 林 新太郎 | 同窓会長 |
| | 大水 和弘 | PTA会長 |
| 学校側 | 高木 徳彦 | 校長 |
| | 宮川 直樹 | 教頭 |
| | 大矢 英樹 | 教頭 |
| | 桐山 泉 | 事務部長 |
| | 土本 繁 | 教諭(教務主任) |
| | 小野 卓也 | 教諭(生徒指導主事) |
| | 田中 賢 | 教諭(進路指導主事) |
| | 高橋 百合 | 教諭(総合学科主任) |
| | 箕浦 誠 | 教諭(農場長) |
| | 桂川 法生 | 教諭(寮務主任) |
- 3 会議の目的 大垣養老高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和2年 1月23日(木) 9:00~11:00
岐阜県立大垣養老高等学校 会議室
委員3名、オブザーバー2名、学校側7名が出席
- 5 会議の概要
- 生徒発表
 - 商業Sクラブ 『地域情報発信・拡散の効率を探る』
 - 生活福祉系列 『学び ~成長とともに~』
 - 農業科 『地域資源活用プロジェクト』 (食品科学科チーム醸造)
 - 生産科学科 } ポスター発表
 - 食品科学科 }
 - 環境園芸科 }
 - 学校関係者評価委員会 (学校自己評価)
 - 意見交換

(1) 生徒発表の感想等

- 意見1 発表にあったように生徒さんが白鶴荘を訪問してくれた。コミュニケーションを取るのが難しかったかもしれないが、これからもよろしく願いたい。
- 意見2 バリエティ豊かな活動に驚き感心した。外部への情報発信をしているのか。学校の頑張りをもっとアピールした方が良い。CCネットで伝えてはどうか。
- (学校) 学校HPに掲載するなど発信はしているが十分ではない。
- 意見3 湧水を使った醤油はすでに販売されている。醤油諸味の手作りセットは、いつ頃どこで販売するのか、そのPRをどうするのか、大変興味がある。
- (生徒) 現段階では未定。この研究は2年生が引き継ぎます。
- 意見4 大垣養老の諸活動についてもっと発信をお願いしたい。同窓生としても期待している。いずれの発表も地域に根ざした発表で、教育目標に則した内容であった。地域に愛される、地域に密着した学校へとさらに進んでほしい。
- 意見5 地域発信が重要。生徒は夢を持って楽しく発表している。卒業後も社会に出て仕事に就いた場合、学校で学んだこと経験したことが生かされていることを期待する。夢を持つことはとても大切だ。
- 意見6 地元で大養の話題が出ると嬉しくなる。さらに地域に密着の活動をしてほしい。
- 意見7 学校近くにチコリ村が進出する。植物工場の建設もあり西濃管内の野菜を材料に販売される予定である。地元の雇用という意味でも期待できる。6次産業は今後の研究の課題になると思われる。

(2) 本校の教育活動への提言等

- 意見1 タブレット等のICT機器の導入状況はどうか。ICTは今後、学校において重要である。
- (学校) 県下一斉にICT機器は導入され、タブレットは56台導入された。今後は生徒が活用できるように準備をすすめる。
- 意見2 大垣市役所においてもICT機器は導入され、電子市役所となっている。学校もICT機器を活用していくことは重要となってくる。農業科においてもスマート農業など導入が活発化していくはずだ。
- 意見3 大養ブランドとはどういうものか。
- (学校) 本校への共感や信頼を通して学校の価値を高めていこうとする決意のメッセージです。本校生にとっては、自分の考えを自分の言葉で伝えるなどの取り組みを通して達成感や誇りを持たせ、人格形成を目指すためのスローガンとなるものです。
- 意見3 これからも自己主張がしっかりできる生徒を育成して大養ブランドをさらに高めていってほしい。学科改編に向けてのPRはできているか。時代に合った学科改編は大切で、いい事である。
- (学校) 教頭が各中学校を回り説明している。
- 意見4 校則の見直しについて、インナーは黒でも良いのか。
- (学校) 進路を意識した指導を前提とし、色については校則からはずしている。TPOに応じた服装を心掛けるよう指導している。
- (学校) LGBTの世間の一般的な対応、動きについて教えていただきたい。
- 意見5 大垣市はPTAの要望もあり、和式トイレも一部残している。
- 意見6 新建築物では多目的トイレと和式トイレが設置されている。これは対応の一例ではないか。

(3) 全体に対する意見交換

- 意見1 大垣養老の生徒は入社してすぐに実践的に活躍している。学校での諸活動が基礎となっていると感じた。
- 意見2 大養祭に初めて来校した。すごい人でびっくりした。取り組みをもっと情報発信する必要がある。取り組みが見えてこない。施設訪問に来ていただくと、最初はごちないが次第にコミュニケーションが取れるようになっている。大変良いことである。これからもよろしくお願ひしたい。
- 意見3 生徒の発表はバラエティに富んでいて良かった。情報を外に発信すればもっと良い。実習製品の農産物は評判が良い。何も買えないとならないように学校祭での販売量を増やすと良い。
- 意見4 2021年、100周年を迎える。卒業生が約23500人。安八農高をスタートとして、幾多の変遷を重ねた。大垣養老高校でも開校以来15年、皆さんの努力により発展している。質が高くなっている。卒業生として嬉しく思っている。今後とも地域に根ざした、地域の学校としてお願ひしたい。
- 意見5 総合学科と農業科との連携をさらに進めてほしい。情報発信をさらに進めていけば、活動内容もさらに高まっていくと思われる。

6 会議のまとめ

生徒発表に対しては、生徒に温かい激励の言葉をいただき、「本校の教育目標に則した地域に根差したよい発表であった」との高評価をいただくことができた。本校の教育活動に対しては、「バラエティ豊かで活発」と評価していただいた一方、「さらに情報発信に努めるように」とのご指摘をいただいた。今後も、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推し進め、西濃地区唯一の総合学科、農業科併置校としてのメリットを十分発揮した教育活動の充実に努めていきたい。